

# 支援プログラム

事業所名: つみkids

作成日: 令和8年1月22日

法人(事務所)理念	(法人理念)「かならず しあわせに する」 (事業所理念)「誠実に向き合う」「学び続ける」「挑戦を楽しむ」		
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●”子ども主体で”子どもが、何をしたいのか、何を感しているのか、何を求めているのかなど、常に子ども主体で考えます。</li> <li>●”子どもの遊びを大切に”子どもが何が好きなのか、なんの遊びをしたいのかを知り、その遊びの幅が広がるように提供し一緒に遊びを楽しみます。</li> <li>●”安心・安全の場”に”子どもが、安心できる場所、自分の居場所を見つけ、自分らしさを発揮できるようにします。</li> </ul>		
営業時間	9時00分～18時00分まで	送迎実施の有無	あり・なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水分補給、手洗い、排泄、衣類の着脱など基本的な生活習慣や、身支度・準備・片付けなど集団生活に必要なスキルが身につくようなプログラムを実施</li> <li>・個々の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。</li> </ul>	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは、身体を動かすことが楽しいと思え、自ら遊びに参加できるような環境の設定</li> <li>・粗大運動: 歩く・走る・止まるなどの基本動作から、体力づくり、全身運動などを、遊具や巧技台を使ってプログラムを実施。</li> <li>・微細運動: ひっぱる・つかむ・つまむ・まわす・通す・はめる・入れるなどの手先の動きを、玩具や教材を使ってプログラムを実施。</li> <li>・感覚: 触覚・味覚・嗅覚・視覚・聴覚の5感に加え、前庭感覚・固有受容覚など揺れやスピード、重さやボディーイメージなどを味わえるプログラムを実施。</li> </ul>	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目や耳など、どの感覚からの認知が得意かを知り、個々に応じた支援を提供。</li> <li>・自分で選んで行動する経験を積むことで自己決定力や行動の自己調整力の向上を図る支援を提供。</li> <li>・色や形、大小や長短、時間の概念、比較や分類など、玩具や教具、絵本などを使い認知面の理解を深め、日常生活での活用を促す支援を提供。</li> </ul>	
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉だけの表出に限らず、子どもが自分の意思を身ぶりや手振り、支援カードなど何らかの方法で表出できる環境の設定。</li> <li>・物と名称、行動と言葉、感情と言葉を一致できるプログラムや模倣あそび、リズム遊びなどを通して2～3語文や名刺や動詞、助詞などの言語を習得できるプログラムを実施</li> </ul>	
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の表出した気持ちを、指導員や友達に共感してもらえたという安心感が持てる環境の設定。</li> <li>・一人遊びから、対大人とのあそび、見立て遊び、他児との並行あそびから協調した遊びにつながるプログラムを実施。</li> <li>・ルールのある遊びを通して、集団生活への参加やルール理解、自分と他人の気持ちの理解ができるプログラムを実施。</li> </ul>	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の子育てや発達についての相談や援助を行うことで、孤立感を軽減できるサポート作り</li> <li>・ペアレント・トレーニングや保護者交流会などを通して交流の場の提供や家族の学びの場を設ける。</li> <li>・きょうだい児への支援。</li> <li>・心理士/作業療法士からの助言・監修のもとで支援を行う。</li> </ul>	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同年代の子どもとふれあう機会作り。</li> <li>・就園先や就学先との連携。</li> <li>・事業所と園・学校などの集団生活での支援方法の統一化。</li> <li>・移行先への相談援助。</li> </ul>
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを取り巻く機関: 医療機関、保育所・幼稚園・認定子ども園・小学校・特別支援学校などの教育機関、福祉・行政機関、その他の障害福祉サービス、専門職・専門機関、地域資源・地域支援)と、個別支援計画などの情報共有。</li> <li>・災害時などの協力要請。</li> </ul>	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援ガイドラインの内容、定型発達や障害知識など基礎知識に関する研修</li> <li>・虐待防止、感染症・衛生管理、事故防止、災害、不審者対応などの研修。</li> <li>・職員間での情報共有や振り返りを行うとともに、必要に応じて外部研修や専門職の助言を取り入れ、支援の質の向上を図る。</li> </ul>
主な行事・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節に応じたイベントを実施(クリスマス会・お正月等)</li> </ul>		